

九州大学教育・研究の最前線

—第10回P&P研究成果一般公開—

2011年6月3日(金)～7月1日(金)

開館時間●10:00～16:30

会場●箱崎キャンパス旧工学部本館3階

土・日も開館期間中、常設展示室も開室しています。

- 砂漠地帯に自生する薬用植物の栽培研究
代表 安福 規之(工学研究院)
- 多様な地域資源を活用した持続可能な地盤環境改善技術
代表 大嶺 聖(工学研究院)
- 教育・研究支援センターによる研究支援活動の拡充と若手研究者の先端技術獲得支援
代表 横溝岳彦(医学研究院)
- 学力低下問題に対応するための新入生数学基礎学力調査
代表 梶原 健司(マス・フォア・インダストリ研究所)
- 国際キャリアパス拠点の構築をめざした研究教育の国際コース化
代表 伊藤 早苗(応用力学研究所)
- 性周期制御における新規分子PRIPの役割
代表 松田 美穂(歯学研究院)
- 知の中継地としての日本に関する総合的研究-「知の加工学」の創成に向けて-
代表 松永 典子(比較社会文化研究院)
- 葉緑体Toc34タンパク質によるトランジット配列認識機構の解明
代表 齊藤 貴士(生体防御医学研究所)
- 多動性行動異常モデルとしての生後発達期アミノ酸合成不全マウス
代表 友永 省三(農学研究院)
- ペルオキシソームの形成機構を構造生物学的アプローチによって解明する
代表 佐藤 秀輝(理学研究院)
- ポンペイとオステア、日本における古代ローマ都市研究の現在
代表 末廣 香織(人間環境学研究院)
- 医療施設における光環境のEBD-医療従事者の健康に配慮した職場設計
代表 古賀 靖子(人間環境学研究院)
- 先端研究者と高度専門教育の理学教育(専攻横断教育プログラムと専門教育の融合)
代表 宮原 三郎(理学研究院)
- 大学マネジメント人材育成プログラム構築のための実践的調査研究
代表 小湊 卓夫(高等教育開発推進センター)

入場無料

学内研究施設公開

通常一般公開していない展示室もご覧いただけます

- 総合研究博物館第一分館
(高壮吉鉱物標本、骨格標本、工場機械)
- 旧工学部本館
3階 総合研究博物館常設展示室
工学部列品室(岩石、鉱物、鉱山資料)
4階 旧工学部会議室(壁画のある会議室)

5月14日(土)
10:00～16:30

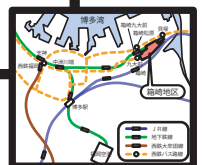


青山熊治画 2.5m×5.7mの油絵壁画



交通アクセス

- JR博多駅→地下鉄中洲川端乗換(貝塚行)→箱崎九大前下車
- 福岡空港→地下鉄中洲川端乗換(貝塚行)→箱崎九大前下車
- お車の方は、国道3号線側「小松門」のみ通行可能
(要:入構料金300円)



九州大学教育・研究の最前線

—第10回P&P研究成果一般公開—

2011年6月3日(金)～7月1日(金)

開館時間●10:00～16:30

会 場●箱崎キャンパス旧工学部本館3階

土・日も開館 期間中、常設展示室も開室しています。

主催:九州大学研究戦略委員会・総合研究博物館

- 砂漠地帯に自生する薬用植物の栽培研究
代表 安福 規之(工学研究院)
- 多様な地域資源を活用した持続可能な地盤環境改善技術
代表 大嶺 聖(工学研究院)
- 教育・研究支援センターによる研究支援活動の拡充と若手研究者の先端技術獲得支援
代表 横溝岳彦(医学研究院)
- 学力低下問題に対応するための新入生数学基礎学力調査
代表 梶原 健司(マス・フォア・インダストリ研究所)
- 国際キャリアパス拠点の構築をめざした研究教育の国際コース化
代表 伊藤 早苗(応用力学研究所)
- 性周期制御における新規分子PRIPの役割
代表 松田 美穂(歯学研究院)
- 知の中継地としての日本に関する総合的研究—「知の加工学」の創成に向けて—
代表 松永 典子(比較社会文化研究院)
- 葉緑体Toc34タンパク質によるトランジット配列認識機構の解明
代表 齊藤 貴士(生体防御医学研究所)
- 多動性行動異常モデルとしての生後発達期アミノ酸合成不全マウス
代表 友永 省三(農学研究院)
- ペルオキシソームの形成機構を構造生物学的アプローチによって解明する
代表 佐藤 秀輝(理学研究院)
- ポンペイとオスティア、日本における古代ローマ都市研究の現在
代表 末廣 香織(人間環境学研究院)
- 医療施設における光環境のEBD—医療従事者の健康に配慮した職場設計
代表 古賀 靖子(人間環境学研究院)
- 先端研究者と高度専門家育成の理学教育(専攻横断教育プログラムと専門教育の融合)
代表 宮原 三郎(理学研究院)
- 大学マネジメント人材育成プログラム構築のための実践的調査研究
代表 小湊 卓夫(高等教育開発推進センター)

入場無料

P & Pとは

P & P (九州大学教育研究プログラム・研究拠点形成プロジェクト)とは、九州大学として、一定の期間研究費等の重点配分を行い、本学の教育と研究の一層の発展を図ることを目的とするものです。九州大学総合研究博物館では、平成14年度より研究戦略委員会と共に「九州大学教育・研究の最前線」と題しまして、P & Pに採択された研究の成果を一般公開してきました。ぜひ、この機会に九州大学にお越し下さい。

主催:九州大学研究戦略委員会・総合研究博物館

その他の催し物

5月14日(土)
10:00~16:30

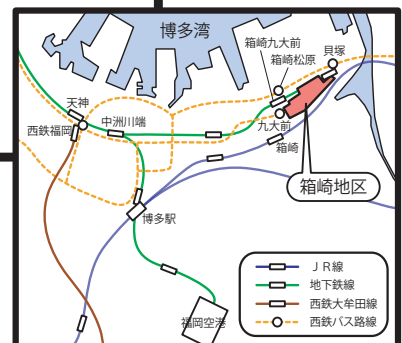
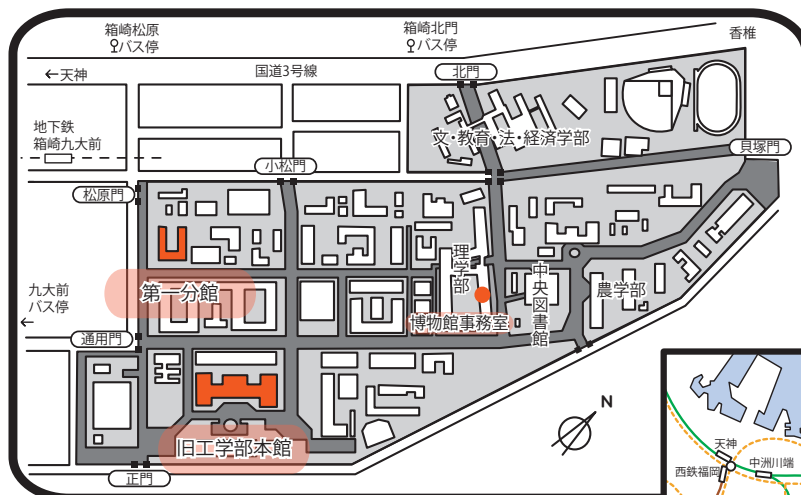
学内研究施設公開

通常一般公開していない展示室もご覧いただけます

- 総合研究博物館第一分館
(高壮吉鉱物標本、骨格標本、工場機械)
- 旧工学部本館
3階 総合研究博物館常設展示室
工学部列品室(岩石、鉱物、鉱山資料)
4階 旧工学部会議室(壁画のある会議室)



青山熊治画 2.5m×5.7mの油絵壁画



交通アクセス

- JR博多駅→地下鉄中洲川端乗換(貝塚行)→箱崎九大前下車
- 福岡空港→地下鉄中洲川端乗換(貝塚行)→箱崎九大前下車
- お車の方は、国道3号線側「小松門」のみ通行可能
(要:入構料金300円)

お問合せ:九州大学総合研究博物館事務室 092-642-4252
<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/>